

つながれ、エールのバトン

ケア帽子とエールのバトンプロジェクトは、病気と向き合う患者・家族を、エールのバトンでつなぐプロジェクトです。抗がん剤治療を乗り越えた方のケア帽子とメッセージを、これから治療を始める方へ、エールのバトンをつなぎます。治療を受け、病気に向き合い、乗り越えていく…。患者・家族の心は孤独になりがちです。そんな経験を持つ者同士、ケア帽子をとおしてわかりあえたらと思っています。

ケア帽子とエールを受取る

自分や大切な人が、がんであることがわかったら、一番の心配は身体のことです。とはいえ、普段の暮らしも大切にしたいと、私たちは考えます。

治療がすすめば、生活や仕事への影響は避けられず、暮らしは大きく変化するかもしれません。

私たちは、そんな日々の暮らしのかたわらに、ケア帽子とエールのメッセージを贈りたいと思っています。

ご紹介するケア帽子は、がんの治療を乗り越えた方からご寄付いただいたものばかりです。

これから治療をする方に向けて、ケア帽子ひとつひとつに、一言メッセージが添えられています。

※配送や梱包などのため、実費程度のご負担をお願いします。

脱毛中に欠かせないケア帽子ですが、治療が一段落して毛髪が生えれば、使う機会も減るでしょう。もしかして、「キレイな状態でクローゼットにしまったまま」、そんなケア帽子をお持ちではないでしょうか？

もしお持ちでしたら、ぜひ私たちに寄付してください。

ご寄付は、クリーニング（ホームクリーニングでも OK）済のケア帽子を、郵便や宅配便などでお送りください。送料は、恐れ入りますがご負担いただけますよう、お願いいたします。

いただいたケア帽子は、ひとつずつ確認させていただき、必要とする方にお届

けできるよう丁寧に整えます。

※いただいたケア帽子は、お返しできません。また、お贈り先については、お答えできかねますことをご了承くださいませ。

ケア帽子とエールを贈る

【ケア帽子とは】

抗がん剤治療の副作用などで、髪が抜けた頭皮はとてもデリケートです。髪で守られていた時とは違い、暑さや寒さ、乾燥といった刺激にも敏感になります。そんな時には、やさしい肌ざわりのケア帽子が最適です。

ケア帽子は、頭皮に触れる内側にはやわらかい布を使い、縫い目やタグがついていない作りになっているものが多く、デリケートな頭皮をやさしく包み込むような使い心地です。また、後頭部まで覆うデザインが多いのも、ケア帽子の特徴です。

脱毛すると、見た目の変化にも敏感になるでしょう。

気になるのは、他人の目ばかりではなく、ほかならぬ自分自身の目も。鏡にうつる姿に、不安になってしまう時もあるかもしれません。

そういう時こそ、お気に入りのケア帽子を。

やわらかくて伸縮性のある素材は、身体の動きにフィットするので安心して過ごせます。えりあしに大きめのリボンがあしらわれているデザインは、気になる後頭部をカバーしつつオシャレな雰囲気の魅力です。

リラックスタイムに、お出かけに、ぜひお役立てください。